

金武町の振興発展と基地から派生する諸課題に関する意見書

平成25年4月に公表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、嘉手納以南の施設区域の返還対象区域に所在する施設の移設先の一つとして、キャンプ・ハンセンへの移設が計画され、そのうち、キャンプ瑞慶覧の施設技術部地区の倉庫等の移設については、平成26年度に本町は受け入れを表明し、現在移設工事が行われている。

統合計画では、キャンプ瑞慶覧の施設技術部地区を含む、キャンプ瑞慶覧のインダストリアルコリドー、牧港補給地区の3地区から倉庫や整備工場等の移設が計画されており、そのキャンプ・ハンセンのマスタープランについて平成30年5月11日に日米合同委員会で合意された。

しかしながら、本町は町土の約55%を米軍基地が占めており、米軍基地が町づくりや産業用地の確保等の支障となり地域振興及び開発推進の妨げとなっている。また、昼夜を問わず行われる米軍の飛行訓練及び軍事演習による騒音、山火事、米軍人・軍属による事件事故及び地域の生活環境に与える影響に地域住民は不安を感じているところであり、統合計画によるキャンプ・ハンセンへの施設の移設が、町民にさらなる基地負担を強いるものとなってはならない。

他方、統合計画における嘉手納以南の土地の返還は、沖縄県全体の基地負担の軽減及び経済振興に繋がるものであると思慮される。県内では、返還される基地の跡地利用による振興策に対し関心が集まっているが、同様に移設される施設の受け入れ先である本町も振興発展していかなければならない。

よって、金武町議会はキャンプ・ハンセンから派生する諸課題への具体的な対策の実施及び本町の振興発展のため、下記事項について速やかに実現されるよう強く要請し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

- 1 金武町複合庁舎建設事業を実現すること
- 1 キャンプ・ハンセンから沖縄自動車道入口付近へのアクセス道路の新設を早期に実現すること
- 1 キャンプ・ハンセン内再編関連工事及び渋滞緩和対策工事への町内業者を

優先活用すること

- 1 キャンプ・ハンセンにおける雇用は町民を優先すること
- 1 金武レッド・ビーチ訓練場を防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条第1項第3号の港湾に指定すること
- 1 国道329号の渋滞緩和を図ること
(うるま市から金武町区間国道329号4車線化)

平成30年6月15日
金武町議会



あて先 内閣官房長官 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
沖縄防衛局長

可決

平成30年6月15日
金武町議会議長 嘉数 義光

